

2020年9月1日

株式会社 山陰合同銀行

「SDGsグリーンローン」への参加について —鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業—

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）は、株式会社三井住友銀行（頭取CEO 高島 誠）がアレンジャーとして組成した鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業（以下、「本事業」）向けの「SDGsグリーンローン」（シンジケーション方式のプロジェクトファイナンス、以下、「本ローン」）に参加しましたので、下記の通りお知らせします。

本事業は、運営開始から約50年が経過している鳥取県内の4水力発電所について、民間事業者の有するノウハウや創意工夫を積極的に活用することで、発電所の長寿命化や効率的な運営維持の実現、民間への市場開放に伴う地域経済の活性化、再生可能エネルギーの固定価格買取制度や発電事業全体の効率化を通じた県利益の最大化を図ることを目的としています。

また、本ローンは、資金使途を環境面に配慮した事業への用途に限定したグリーンローンとして、外部評価機関である株式会社格付投資情報センターのグリーンローン評価「R&Iグリーンボンドアセスメント」において、最上位評価となる『GA1』を取得しています。

当行では、長年、リレーションシップバンキングや地方創生への取り組み、CSR活動などを通して、地域の活性化に貢献してまいりました。2019年5月には「サステナビリティ宣言」を表明し、地域やお客様に対してSDGsの理念を広め、地域と当行が持続的に成長できる社会の実現を目指すべく、地域課題の解決など様々な活動に取り組んでおります。

当行は、「サステナビリティ宣言」に基づき、今後もこのようなSDGsの達成に貢献する投融資に積極的に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

本ローンの概要

事業者	M&C鳥取水力発電株式会社
出資者	三峰川電力株式会社（丸紅株式会社100%子会社）、中部電力株式会社、株式会社チュウブ、美保テクノス株式会社
総額	約157億円（SDGsグリーンローン部分）
契約締結日	2020年7月31日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
参加金融機関	山陰合同銀行 ほか10行

以上

※SDGs (Sustainable Development Goals) : 2015年9月の総会決議で国連加盟国が採択した、2030年までに達成を目指す17の持続可能な開発目標と、これを達成するための169のターゲットで構成されている。

